

# 平成 28 年度全国学力・学習状況調査

## 本市調査結果の概要

### 平成 28 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要項（抜粋）

#### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図る。  
学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。  
そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 調査期日及び対象

本年度は熊本地震により、熊本市は後日実施。

- ・ 平成 28 年 6 月 小学校第 6 学年
- ・ 平成 28 年 7 月 中学校第 3 学年

#### 3 調査内容

教科に関する調査（国語・算数・数学）

主として「知識」に関する問題（A）

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

主として「活用」に関する問題（B）

- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・ 様々な課題解決のための構想を立て，実践し，評価・改善する力 など

生活習慣や学校環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

- ・ 学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面に関する調査

学校に関する調査

- ・ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 熊本市の結果の概要

### (1) 問題種別平均正答率の全国・県との比較

本年度は熊本地震により後日実施のため、参考資料となります。

熊本市の平均正答率は、8項目のうち4項目で全国平均を上回った。(H27は6/8)

学年 問題種	小学校6年生				中学校3年生			
	国語A 「知識」	国語B 「活用」	算数A 「知識」	算数B 「活用」	国語A 「知識」	国語B 「活用」	数学A 「知識」	数学B 「活用」
熊本市	72.8	58.6	76.4	46.7	75.9	67.9	62.9	44.0
県との差	-0.3	0	-0.7	-0.2	+0.5	+0.6	+2.1	+1.2
全国との差	-0.1	+0.8	-1.2	-0.5	+0.3	+1.4	+0.7	-0.1
(H27)	(+0.1)	(-1.9)	(-0.9)	(+0.4)	(+0.9)	(+1.6)	(+1.3)	(+0.8)
県平均	73.1	58.6	77.1	46.9	75.4	67.3	60.8	42.8
全国平均	72.9	57.8	77.6	47.2	75.6	66.5	62.2	44.1

斜体は、H27より上がっている項目

本市が下回っている項目

### (2) 平均正答率の結果から見られた課題 「正答率が全国に比べて最も低かった問題」

小 学 校	国語A	学年別配当表に示されている漢字を正しく読む(今日は全国的に快晴だ)問題 (-2.9%:本市76.4%、全国79.3%)
	B	質問の意図を捉えることができるかどうかみる問題 (-2.4%:本市48.7%、全国51.1%)
	算数A	1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解しているかどうかみる問題 (-8.1%:本市42.8%、全国50.9%)
	B	図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができるかどうかみる問題 (-3.5%:本市21.9%、全国25.4%)
中 学 校	国語A	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことができるかどうかみる問題 (-2.6%:本市76.1%、全国78.7%)
	B	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く問題 (-0.1%:本市71.0%、全国71.1%)
	数学A	多角形の外角の和の性質を理解しているかどうかみる問題 (-4.9%:本市64.4%、全国69.3%)
	B	与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができるかどうかみる問題 (-4.6%:本市26.5%、全国31.1%)

### (3) 生徒質問紙・学校質問紙調査から見られた改善点や課題

- ・生徒質問紙から・・・めあてやねらいが示されていたか。

学習内容を振り返る活動をよく行っていたか。

- ・学校質問紙から・・・めあて・ねらいを示す活動を計画的に取り入れたか。

学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたか。

について、昨年度と比較するとかなり改善が見られている。

- ・学校質問紙から・・・平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか。

について、「よく行った」学校が、全国・県と比較して低い。

# 児童・生徒質問紙調査分析結果

## 平成28年度の本市の状況と県平均・全国平均との比較

数値は、選択肢の「している」「どちらかといえばしている」などの肯定的評価の合計。

<b>数字</b> ; 全国平均を10ポイント以上上回る項目 <b>数字</b> ; 全国平均を3ポイント以上上回る項目 <b>数字</b> ; 全国平均を3ポイント以上下回る項目 <b>数字</b> ; 全国平均を10ポイント以上下回る項目	小学校			中学校		
	本市	県比	全国比	本市	県比	全国比
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(「2時間以上」の合計、学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	23.4	+1.4	-2.1	53.3	+12.1	+19.1
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(「3時間以上」の合計、学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	11.8	+1.1	+0.1	39.7	+11.7	+23.1
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(「週に1回以上」の合計)	29.2	-1.9	+12.8	12.3	-1.3	+4.7
家で、学校の授業の復習をしていますか	61.1	+0.1	+5.9	49.3	-5.9	-1.7
家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	71.9	+2.1	+7.3	65.2	+0.9	-3.0
学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり折り合いをつけたりして話し合い意見をまとめていますか	55.9	+1.6	-2.7	53.0	-0.7	-5.4
先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくださいますか	87.3	+1.1	+2.5	70.6	-0.9	-3.5
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	70.3	+1.8	+9.6	75.3	+2.2	+5.1
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた授業では、先生から示される課題や学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	78.2	+1.1	+0.4	70.4	-0.2	-3.4
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	63.1	+2.9	-1.1	50.7	+0.5	-7.0
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	88.5	-0.7	+0.9	86.2	-3.6	+1.3
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	76.9	-1.3	+0.8	58.4	-6.7	-4.7
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	86.8	-3.4	-1.1	79.3	-6.0	+2.5
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	80.9	-0.6	+3.3	78.4	-1.2	+4.3
国語の勉強は好きですか	63.4	+4.7	+5.1	57.0	+0.7	-2.8
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.2	+2.2	+3.5	67.0	-1.6	-7.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	62.1	+1.4	-0.2	51.5	+0.3	-5.2
算数・数学の勉強は好きですか	73.0	+2.7	+7.0	59.2	+0.4	+3.2
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	85.4	+1.5	+5.2	65.3	-1.3	-4.1
21 算数・数学の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	79.1	+2.4	+3.3	92.0	+1.0	+0.7

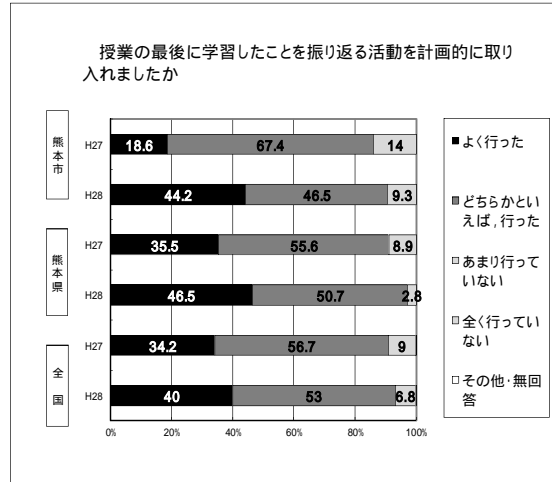
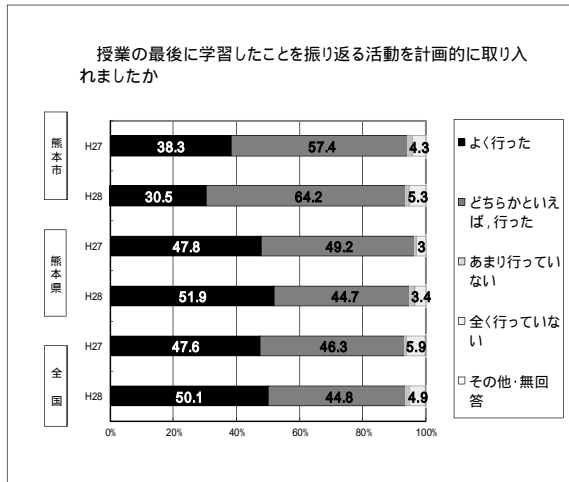
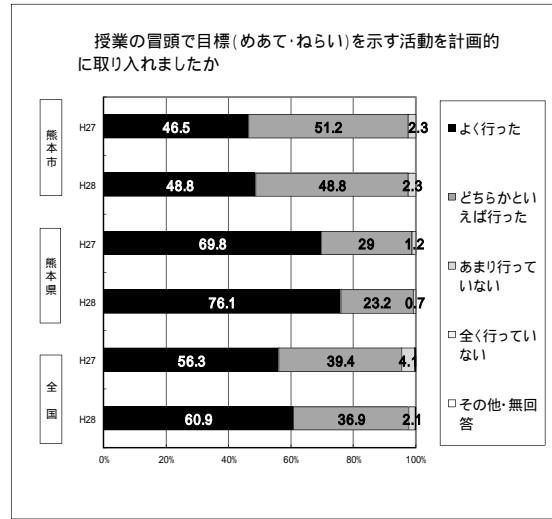
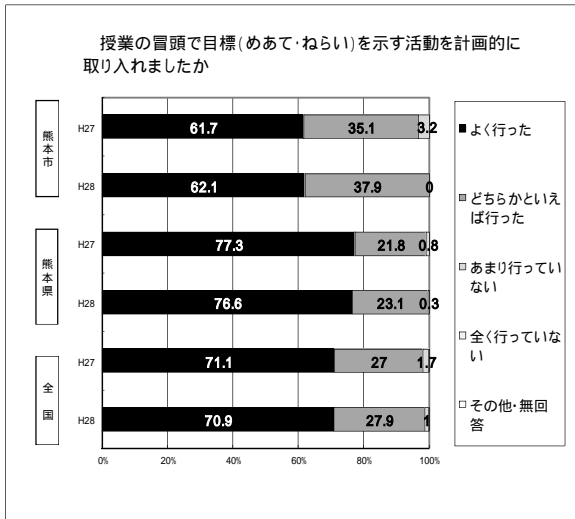
【結果より】中学校は、(学校の授業時間以外の学習時間)については、県や全国に比べて10ポイント以上上回っているが、(復習や授業での振り返り活動)については下回っている。(授業における目標(めあて・ねらい)の提示や振り返り活動、そのことをノートにまとめること)では、小中学校共に県より下回っている。については、今年新たに取り入れられた質問で、地震の影響等もあるのか、全国や県に比べてポイントが高い。

# 学校質問紙調査分析結果

## 1 目標(めあて・ねらい)と振り返り

### 小学校

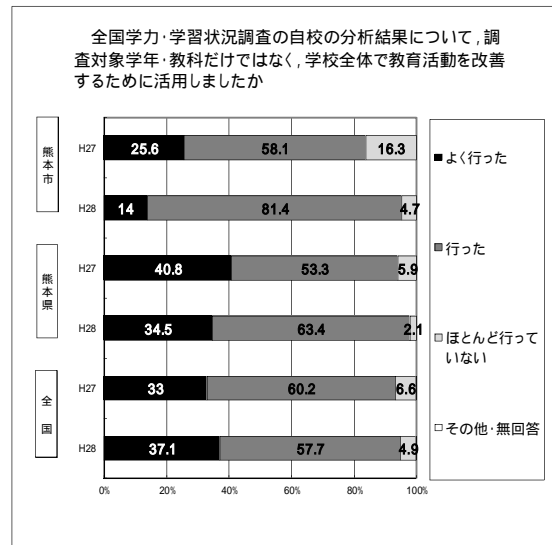
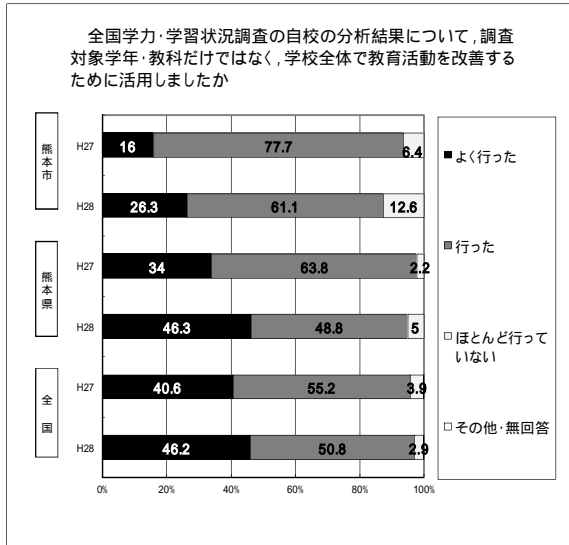
### 中学校



## 2 全国学力・学習状況調査の活用

### 小学校

### 中学校



### 【結果より】

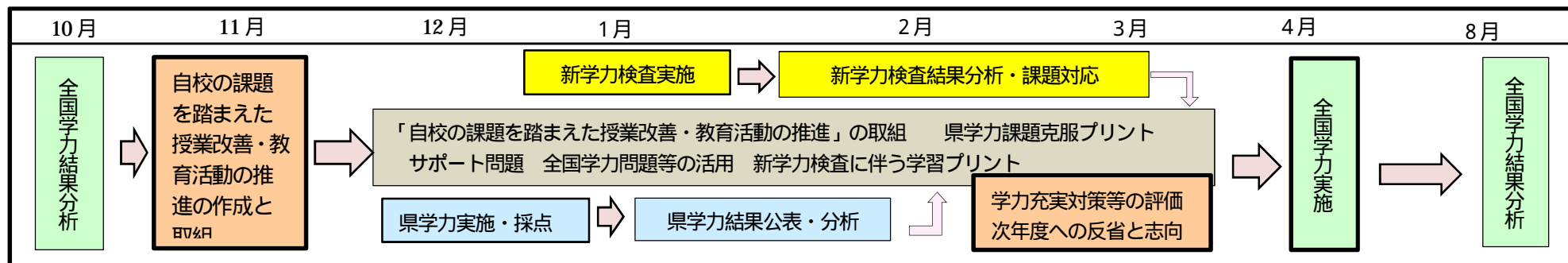
授業の冒頭で目標を示す活動を計画的に行うことについて、依然として県や全国を下回っている。  
 学習を振り返る活動を計画的に行うことについては、小学校は昨年度を下回り、中学校では、昨年度より改善全国平均を上回った。  
 調査結果を学校全体で教育活動を改善するために活用することは、依然として県や全国を下回っている。

## 調査を活かす検証改善の流れ（例）

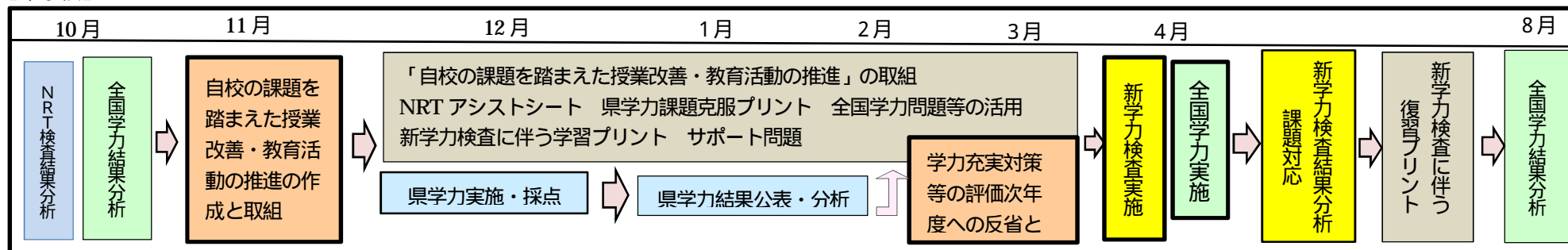
「調査を活かす検証改善の流れ」を参考にし、自校の実態に合わせて取組を行う。

平成29年度に向けて、全校で計画的に取り組めるように、本年度中から計画を立てる。

【小学校】



【中学校】

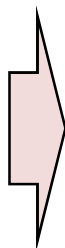


### 調査結果の概要把握と全職員による状況把握・協議の流れ

#### 調査結果の概要把握

（Project Team 案：校長・教頭・教務、該当学年・教科等）

- ・自校の平均正答率と全国との関係
- ・調査結果概要の作成
- ・課題がある問題等の分析と対策の検討
- ・質問紙調査から見る生活習慣、学習習慣の概要の作成
- ・自校の教育目標に照らした生活習慣、学習習慣等の状況の把握と対策の検討



#### 全職員による状況把握・協議

- （職員会議、校内研修等の活用）
- ・全国との関係から自校の状況を把握（全学年の必要取組事項の確認）
  - ・自校の学力充実対策案について協議
  - ・授業に生かす重点項目等の確認（各教科や全学年の中で）（家庭学習の方針確認等含む）

#### 返却と説明責任

- 個人票の返却と指導の機会の確保
- ・個人結果の状況把握
  - ・子どもへの個人票返却と指導
- 保護者への周知と連携
- ・個人票の見方と結果概要の説明
  - ・今後の取組み等について保護者へ説明